

令和4年度出資団体監査の結果（12月及び1月実施）

1 監査対象

- (1) 名称 秦野市土地開発公社
- (2) 所管課 財産管理課

2 監査実施期間

令和4年12月1日（木）から令和5年1月27日（金）まで

3 監査の場所

監査事務局及び監査対象課等

4 監査対象事務

令和3年度決算及び経営状況等を監査の対象とした。

5 監査の着眼点

- (1) 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか
- (2) 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか
- (3) 事業成績、財政状況は適正に決算諸表等に表示されているか
- (4) 経営成績及び財政状態は良好か
- (5) 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か
- (6) 会計経理は適切か
- (7) 財産管理は適切か
- (8) 資金の運用は適切か
- (9) 経費節減は図られているか

6 監査の実施内容

上記のとおり着眼点を定め、各事務の主管課等から提出された監査資料、関係諸帳簿、伝票及びその他の記録に基づき関係職員の説明を求めて、調査を実施した。

7 監査の結果

監査を実施した結果、おおむね適正に執行されていたが、契約事務の中で次のとおり一部注意が必要な事例があった。

事業名 : 令和3年度上今川町臨時駐車場外灯ポール修繕

指摘内容 : 概算見積額が20万円を超える委託契約であり、契約規則第31条及び第31条の2第1項より、本来ならば2者以上から見積書を徴取し、随意契約をする必要があったが、実際には1者か

ら見積書を徴取して随意契約を執行した。